

第10回 栃木県支部総会・講演会・懇親会報告

栃木県支部 支部長 高橋 伸輔（平5・化学）

令和元年11月30日（土）に第10回理学部鶴風会栃木支部総会を、進藤洋一理学部鶴風会理事の臨席の下、チサンホテル宇都宮で開催しました。参加者は9名（支部会員5名、来賓4名）でした。支部総会において、通常の議題が了承されました。



「総会・講演会」

総会後に講演会を行い、栃木支部10年の歩みを映像をまじえて振り返るとともに、栃木県の高校における理数教育の現状について支部長自ら説明を行いました。高校における理数教育は、令和4年度から新しい共通教科「理数」が導入されるなど、新しい学習指導要領をもとに大きく変化しようとしています。すでに高校と大学の連携も進み、高校生が校外で科学的な学びを体験する機会も増えてきています。このような機会を捉え、県内における東邦大学の認知度アップと受験者数の増加に貢献できることはないか、模索を続けています。講演会後に進藤理事から「東邦大学の現在」について説明をいただき、進化し続ける習志野キャンパスを実感することができました。



「懇親会」

最近の支部総会は、参加者の減少が悩みとなっています。今回の総会では、新潟県の本田支部長、群馬県の深澤支部長の出席を賜り、支部活動の活性化や近県と連携した取組について様々なアイデアをいただき、大変参考になりました。今後も、他の支部の取り組みを参考にしながら、活性化を図っていきたいと考えております。後とも、栃木県支部へのご支援をよろしくお願いいたします。



「参会者」